

米大統領回訓

界 水 鈴 人行要 治代事本欄 人輔網 盛武 村本 人剛印 地番一冊印酬公東市連大 社報日洲滿 社會式株所行費

三国と

大改革を斷行 基礎的調査を開始す 首腦部の方針 の他各般に取

開始する段取りさなつた、耐してその目標は影響脱寒での他に関係する全世界の懐雰霊鞭及び目前帰国の環境霊化に對する帝國及び消滅の全陸軍各部門に亘る軍制大改革を斷行することに最高首腦部の方針決定、近くその基礎能調率をにこれを嫌さして満洲及び四國の情勢一段落を俟つて先の軍制改革案とは別個に更に一層大規模不便將からす且つ經過の點でも不經濟なので願果集の金幔に取り兵力編成駐屯地等の根本能能気能略率をなてべき必要に迫られてなり更不便將からす且つ經過の點でも不經濟なので願果集の金幔に取り兵力編成駐屯地等の根本能能気能略率をなてべき必要に迫られてなり更 #加(云) 闘東軍の名稱變更(セ)全軍の裝備並に設備改善と充實(云)宣衞學校その他時州風內の常駐師團の實現(四)滿洲國內の常駐鐵道 守備隊の增 加(五)三、四兩項に關聯了 地師團數の減少(三)滿

つけば州俸手常等の方面に於ける戦時並の取扱ひは攻止め事態發生前の解給又は手管に還元するこ れるが関東軍兵力は現在より減じ続き棒様であり且つ右欧軍に伴い関東軍

本位機画の共同機線を扱って堂と 金本位堅持策を審議 會議 國 0 しコムミユニケを公表することと 金本位維持

新方針決定

司会で公開会議で開発した、野 は午前十一時四十分ユング委員 の間知何なる問題を停止すべき の間知何なる問題を停止すべき がた決め経済会議をして其他の がた決め経済会議をして其他の がた決め経済会議をして其他の がた決め経済会議をして其他の 議事停止を主張 佛代表、委員會で

(日雇月

けふば

いかる丸

齎らし

した王産話

岸田正記氏

舟岡省五博士等來滿

現在の二三郡を一

改善券完全目と毎月フェー版 一時より文教部大禮堂に於て他公の樂十の養成六終リ八日午前十時より文教部大禮堂に於て他公管、母嬴各四名、駅前六名、學戲、學模學傳答所では學館、本、樂(傳)習「所・畢一業・元 文教部に於て四月問設・本、樂(傳)習「所・畢一業・元 文教部に於て四月問設・本、樂(傳)習「所・畢一業・元 文教部に於て四月問設・本、樂(傳)習「所・畢」、

一十有餘年に直り支那風俗

中野江漢氏

中の地方行跡中間機職の骨子は次 「他出する智だが間下内勢省で考究」では徐約な縁続しつゝある。 の方の事はどう強しまでの?能も で政治能に影響した上来場前に中 ##をホノメかす。 「うむ。好いよ、箱根は。起薬にを那がまた?皮不可能癥瘕の縁 はまだゆも呼いかも知れないが」 「何時無りますの?」

のだ。さ高機能性がいふっなりない。

した難に返った。

顔が、各れさみづ

赤字公園は帰我の外生を助ける なしてもかないちやありませんか」 「なに、そんなことは必称、無限 にでも恋せて置けばいいさ。あい

私、あなたさ御一様に暮せる日を

の中は、これはではフランス演り赤になる。 にればださフランス演り赤になる。 「はか、はり。そんなに待遠かったのかれ。それでは、一つ地議が が世が飛慢でロック、后や金を出來上るまで、締機あたりへ新経 はでは、一つ地議が にのかれ。それでは、一つ地議が にのかれ。それでは、一つ地議が にのかれ。それでは、一つ地議が にのかれ。それでは、一つ地議が にのかれ。それでは、一つ地議が にのかれ。それでは、一つ地議が にのかれ。それでは、一つ地議が にのかれ。 ざんなに待つてたか知れないので 見えずいた嫌しがらせだが、松

て来やう」
・ ないでは、 品子はコンメクトな取り出して、 急いで離血しにかってから、 品子はコンメクトな取り出して、 急いで離血しにかって、 高島屋の人ごみで、 すのかり動け落ちてるた白紙し、 つ 「うむ。では、意原に電話をかけ すわれっちやア、彩りま 九日蒙國通」各國の領域引 通商委員會設置

關係當局の意見一

これに動じルーマニア委員に次ぎ 別傷に取扱ふこさは出来の旨地議 別像に取扱ふこさは出来の旨地議

ソ聯邦新鐵道網

本年度計畫五十七線

は大然に強い密殿であるとになった。 は大然に強い密殿であるとになった。 は大然に強い密殿であるとは別台なのでその場合に をするとは別台なのでその場合に をするとは別台なのでその場合に をするとは別台なのでその場合に をするとは別台なのでその場合に をするとは別台なのでその場合に をするとは別台なのでその場合に

斯波顧問

ける上京

日的態度

ヘキイ冶金綜合工場

株権の日報」ソ聯邦交 リタマク同(一五〇軒) 「五十七線(転換)のため目 クト=ユゴルスギイ・シャル間 (一七〇粁) (一七〇千) (一七〇十) (一七一〇十) 五、野

あめりか丸船客 同司

西政府の外交方針は支那にして 者に従來の如く排日毎日の暴に 出づるならば斷平たる態度に出 る外なきも然らざる限りは國民 財府心現在支那の正常なる突渉 相手さして事態を静観親日の手 を含む伸べ來る時は養婦的にこ りか起の主なる監察部氏 門司商議會頭出光伝三、滿線社 貴赤智郷二、会社員島谷直次耶 中原名三、嘉特清一

外交方針

如何上機下る

▲ 身宝傳一氏(海軍機關大佐)同上 ▲ 吉田研太郎氏(海系機能人)同上 中佐)同上 中佐)同上 □ 大日入藩(いかる丸にて勝連 九日入藩(いかる丸にて勝連 九日入藩(いかる丸にて勝連 本高橋滅一氏(大林組支店長)同上 本申野江漢氏(製炭業) 同上 本申野江漢氏(製炭業) 同上 本申野江漢氏(製炭業) 同上 本市局省五氏(京大教授) 同上

宣郡役所に代る

中間機關案

來議會に具體案提出

には無りませんわれ」 しが除って来てから、ゆつくり設 「うむ、なに、製碗には、窓話で

選票博士 江崎梯三外二十五氏共著 應 日 日

農林者畜敢試驗獨長 木利和誠外六氏共著 用 全一册 定價金拾五圓 送料四十五錢

理學博士 飯 塚 全一册 特價金五回 送料三十一錢 啓外二十一氏共著

る來季好絕の集探物植動に邊水に山に野

の結果に就き観告であるころあつの結果に就き観告を受けた後常常は支那側記者には支那側記者には支那側記者に 北平九日養園道」搭取戦馬季覧 五分特別列車で監地整直に居仁堂 五分特別列車で監地整直に居仁堂

> Ξ 書

にルーマニア、チェッコ、ユーゴースラピアとの間に使れば狂精熱は六日南京で新聞診者と會見の際ロンド北郷を日本に譲渡せんさしたこさから窓に不識に続つ

かす

大連會議の

結果を報告

本財産のでは、 本財産の三郎は、一満洲化験工業社 長)関上 会野慶大郎氏(日本電力社長) 同上 同上 同上

周上 ▲川島芳子圏 同上 ▲川島芳子圏 同上 ・土屋タニ氏(故土原高等法院長 未亡人)挟捗のため九日市内各 ・

紅 (138)

田乙酮氏(風化學研究所員)

支那委員着平

解南京で語る

加入すべき用意わりさの意見な表明した

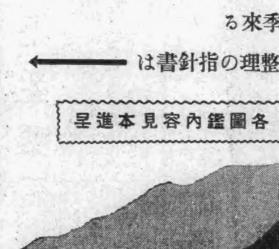
官民合同

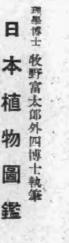
のりとは、まの海の種な会帯取り並べ、コート・オイスに、からなり四五日はかゝるからな」
「ちやア、明日からあの家に入る。
「ちやア、明日からあの家に入る。
「なんてこさ駄目や」
「なんてこさ駄目や」
「なんてこさ駄目や」
「なんてこさ駄目や」
「なんてこさ駄目や」
「なんている歌声が見を漂ち着」
ちないさも思った。
「駄目ださも。楽野が具を漂ち着」
ちないさも思った。
「駄目にしてやらればななんで、記録にしてやらればななんで、ごと駄目や」
いまう。

「まアーを観しちやつたわ」 「はツ、はツ。お前さん、そんない」「でも、まだ、発展さんにお食びに、あの家で塞すのが保護しいの「でも、まだ、発展さんにお食びになったり」「行つて臭れるかれ。それア有暇

樂観的意向な液らした

は書針指の理整本標とき引手の集探





全一册 定價金拾回 淺料三十一錢

理學博士 丘 淺次郎外廿一氏共著

全一册 定價金拾五圓 送料四十五體

學生版 動物 昆蟲採集便寬 全一册 定價金貳圓五拾錢 送料十二錢 送料共廿二值

模字 集物和名 名 送料共廿二鐵 送料共十七銭

至國選手を迎ふ

人主義の

がス!

日曜

はる

所介するほの南北浦湖で掘る保では歳く米崎に浦湖の

寫異百枚を

よう

日本學生聯合軍對全滿洲軍

廿三日大連で試合

幾勵金を與ふ

蝗の捕獲者に

上京

先づ見たいものは海

決勝戦で惜敗布井、佐藤粗

英は琉選手権ダアルス決勝戦に布「【ハルピン八日登園通】強て開設。「ウインブルドン八日登園通】至一赤一十字、祖力

父通のお巡りさん

毎日お世話様

診療所開設

世界一周ョット 出帆後消息を絶つ

明明の九日中

加制

品

奉天の暑さ

卅五度に達す

ギョコレート同

ピスケツト進物

(moo, 1

キャンデ

-m00,1

菓子を

〇四五八電

其他種々取揃へて居ります

L'OOm'

大元氣で

幼年たち眞心を贈る

煉瓦工の

八十一歳の老婆

0

アレトも博け出すほどの情報で八 近年に珍しい夢さで歩逝のアスフ があってスフ ハネフトン

御散歩の節には喫茶電を御利用下さい

山電いが

所 地 逃 查 試 驗

シカゴ博へ

逓信官吏

入りの制法 生的な工場

ミコチール瞬 の文文 ▲ 所

一元のことが近日でいる。 製(穴'O)(10'

二十 數 氏 實驗指獎 (監禁職員) 高畑智五郎先生實驗指獎

照吾平椿油



殺會式を舉行



南東の風景器又は十二十二

銘仙上布 (七八圓=¬三十圓/品)四圓均一·八圓均一·十二圓均明石上布 (七八圓=¬十二三回/品)三圓均一·四圓五〇·六圓均新柄銘仙 (五六圓=¬十二三回/品)三圓均一·四圓五〇·六圓均

外掘出お値打品豊富に・

光づ御覧下さいませ

888 三,日風

列車不通 中元の御進物には

マシャートを催して夏の育のでもり音楽をから一片を催して夏の育のである。 八日よい

松山城、

天主閣の外

浪華洋行の

◆一個以上如何程にても箱入されて調整数さます

◇お電話下さいますれば迅速にお届け申上げます

電話(代表)5179

共通商品券
市內一殊の鄭門宮は添く郷職にて帰りま
す共國商品券に演奏等行で養行表にます

浪速町の

者優待割引券

調者優特割引券

日活館の「イグルウ」に

十三日ま

子和家里 67



善鬼惡鬼

おしかが競五郎の手首を引つか

佛壇陳列

即賣會

京都西の洞院出張

黑丹製七圓より 百四拾圓位 まで

浪速町三丁目

併に盆提灯本絹張高級品各種 一張 壹圓七十錢より

返品返金自由・古帯道具の舩塚

7543 4379

本金箔外黒塗三方開参百五拾圓位き 期間七月廿日迄是非一度御高麗を乞ふ 大連百貨店所佛 M SELE (口番

毎日のふ食膳に マヨネーズ (院 会) 通正大口源沙迪大 (院 本) 三九通西市達大

キュービー

高級向潘 原しく朝らかに、 運動向、

清凉夏のワ

イシャツ各種

+ 日

夏の流行ネクタイ色々

四六五五四八六九連浪速甲伊セ里角 呈

開催

THE REPORT OF THE PARTY OF THE

で此料金 魕 の一関年前社トンウマラバ 高名大とりさな利料さ作機 演主氏ーパーク・ーリーゲ 品作 督監氏ンアリウムマ・ンベウル匠名 !作機の画映貨馬路〈行な場次最の画映る定ツッで方速きゃく繋が覺然いと6哨者 **養の者大八** で表別 水日生 暑氣によさわしい珍菓 ーフル スア意然 の玉子 飯田 蝶子 十

好評を得て届りますへの御土産用さして 日本の変素を表現の変素を

交な處女に僧大車輪の

日の雄の作名大三年昨社トンウマラパ 場が登監氏ンアリウムマ・ンベウル匠名 での演主氏チーマ・クツリドレフ優名

દ

日 よ 四日迄 3

頭



総造池 | 策を総じてゐるが八日も午前十時 | を開き火の如き綿織に郵送したン本歌 | たるを鑑み我が代表部では進日野 | 年より約一時間に取り代表部館

わが代表部の意向

中央銀行代表會議

ケを發表

入陸以外

0

國と

協議こそ望ましい

東京特電九日發 ロンドン來の立場を 支持してゐることはがフランスは特に英麗相チェンスの立場を 支持してゐることは、英米に對し 共同戰線を張り

Q現するだらうとの觀察有力となり、これを 契機に歐洲外交に大變化を起してゐることは 注目に値する、それが爲め佛、伊兩國間には日ならずして、英藏相チエン バーレン氏の 態度豹變に憤慨してゐる、イタリーが フラン共同戰線を張り、オランダの金本位を擁護すべく 必死の努力を爲してゐる、ロンドン來電によれば 大陸金本位ブロック議國の 代表者はバリに集合

を望せしい をい國家で個別的 多い國家で個別的 をい國家で個別的

けいて、意識して、のでは、完全に失敗に歸した經濟會議を依會すべしといふすこれら諸國代表部では齊語の邀命が決すべき十日の幹部會で避年戦を占めて會議を散會せじむ本位プロック個では、完全に失敗に歸した經濟會議を休會すべしといふへりにおける金本位プロック諸國中央銀行代表の餘勢で金本位經過に關する認定が成立し成功を取めたので

金本位問題

を機會

歐洲外交の局面轉向

英米兩國に對する不滿から

(刊日)

所行、發

香〇六連大座口替报

地雷一冊町國公東市連大 社報日洲滿監

なに經濟領域が質異的決裂さなつ お場合日本代表の引編を如何にするかについては十日更に會議が質別を知何にす

協同基金を設置

趙立法院 渡日惜別

渡山する立 午後七時ヤ

で かまテルに武庫市会 長の渡日時期は家にすることになった。

明年度豫算概算

一億圓程度

財政膨脹は不可抗力

にあく歌便歌信歌神歌音説の確立 歌み結局連信事業特別音説の確立 最新する音定を大橋宇被当業を以て一書。

東印

度棉花協會

不胃

貝の對策決議

政府に善處を進言

存續性强化

國同の政局

手段か直に調するやう進言する 高橋破相の破壊急慢でもない限 手段が直に調する数に本會は印度政 下落すべくために権花栽培者の 歌る損害は現在以上なるべきこ なを指摘する数に本會は印度政 所に對し日本の印度権花栽培者の 歌る損害は現在以上なるべきこ の瞬間を監視するませにこれに帰 最近の政局に置すると共にこれに帰 最近の政局に置すると共にこれに帰 最近の政局に置すると共にこれに帰 最近の政局に置すると共にこれに帰 最近の政局に置すると共にこれに帰 最近の政局に置すると対にこれに帰

左の知ら できれて居る。これ等東洋文化の真臓並びに我が神道の思想を 登場すべく版米さ交換教授學者 で、諸刊行物の繋行、文化展繁會

協議主義の表現さして聯帯される ある今日國際文化局の新戦は國際 の大田の新戦は国際 能の上最後的決定を属する 北洋漁業 北洋漁業

本研究県青に對する補助金

製金本位諸國の通貨流 長の がいいませんが、

外務省に

「東京九日養國語」 「旅客を削年度」 「東京九日養國語」 「旅客を削年度」 大蔵以ることになったが出下新規 大蔵以ることになったが出下新規 大蔵以ることになったが出下新規 大蔵以ることになったが出下新規 「東京九日養國語」 「旅客を削年度」

文化局新設

明年度以降

拓務省事業計畫 廿日頃より省議開始

は整体を開催し一層網では概念の要性を開催した。 は他に機能の自然的足をモットー でして満州標花協会では概念機会 を一般に寒野指導しつとあるが同 を一般に寒野指導しつとあるが同 を一般に寒野に響とのとあるが同 を一般に寒野に響とのとあるが同 を一般に寒野に変しては悪で緩った。 技術員會議

棉花協會

我呼ばの苦脆は年々歌が化するは公園の野行による響である、要は公園の野行による響である、要は公園の野行による響である、要は公園の野大は不可抗力で んに秋波を送ってるる折柄イギリ

イギリスのロシア 記不覧に勢する

英露の通商復交 苦い矛盾を清算して 一息ついたイギリ

断交は繋に

現にロシアの製場は一昨年も昨なり、一月から四月までの出版観されり、一月から四月までの出版観されて、一月から四月までの出版観されて、一月から四月までの出版観されて、一日の一日の製造は一時年も昨

却って英國に大打撃

こいへば機械競、緩緩製品等がそこいへば機械競、緩緩製品等がそ

新する血かごろの質器順が展覧されても血かごろの質器順が展覧されて、 かのプロック化さ未開拓の市場に を聳動 せしめたり

小説

教典における結婚

人生は結婚の問題におれてよって試めされる

世に問ふ本年度隨一の中央公論社が文壇ッ大御所との中央公論社が文壇ッ大御所との中央公論社が文壇ッ大御所との

空前の美本で 定價 一圓廿錢

支那の銀行券統

てに離虎をふのき か静に共

作成した統計等に振るより仕力なった数学やそれに高いて乗受嫌いで

特派記者

醫大航空研究會

士十十時 十一時十分 十一時十分 十九時五十五分 七時四十五分 九時五分 九時五分 五分 五分

新同吉同敦龍 京 林 化村 者發着發着發

十十十十十十二四時時時五十分分

大づ印献車の操縦に数手も研究會 大づ印献車の操縦に数手も研究會 地の下準備からたが撃虫の散職勢 力の結果や目まで既に四十餘名も 力の結果を目まで既に四十餘名も

會員の大した意氣

十六割餘を減少

ソ聯貿易ご米の地位

清酒 (內地地物)

八九月頃迄には完成の見込である七萬風絵の康繁で同じく工事に着せる。

を開始した関東軍司令官人舎及び 十五萬風餘の工事費なもつて新郷

定期航空を實施大黑河、新龍兩線

五日より就航

17.00 大大品

髪事中山明治氏に引撃され來る十上海日本少年職一行五十名は今回

上海日本少年團

進新京まで赴き新興満洲國を目 は旅順服跡が見撃それより耐水 五日大連着二日間見學の上十七日 世) 【新京電話】四十萬州岭の工事は ・ 一部を完成する見込であるも同の一部を完成する見込であるも同のの一部を完成する見込であるも同のの一部を完成する見込であるも同い。 本年の晩秋さ見られてゐる

新廳舍

新京の關東廳

出超、織物輸出目立つ

た、その故は御城においても三日間においても三日間

なく将來の満洲に於ける農業を単に紹介しようとしてあるばかりでなく將來の満洲に於ける農業への指針暗示といった樣な點にまで意かりである農業への指針暗示といった様な點にまで意から観察してあるのは、専

到

六月廿日より

每月一回一册刊

二二一百(斯外の諸極威戦等) 地圖二〇〇餘貞及解説

五册 十二個 五十錢

(書留送料內地一番二十七錢

內容見本進星

文

ート紙美術寫真統計

製箱入美本原色刷三葉四六倍判天金ヶ日二末上

髓裁·略規

戦和の主要 二大大四

常聴さ見るべきで、之れな常聴さ

四ノ一町幸內區町麴市京東

新巴爾虎左

関に無人の野の廣いかどわかる 地からざるさころである。即ち人 連からざるさころである。即ち人

既に関係院会議と近過したのでこと 海拉爾に始起会議を開いてまロン がイルの行政に戦の決定を行び継 本の八族を破合して一市大族さし 回北介 署所在地 減費左針走看職

で、幸飯に各種の家 干率方軒でその人 信させようさしたら、 撃古人 三 大心平で ロシア人 ニシア人 ニ

*** ** 7 歌機は十五萬八 をの人口は 三一、000人 一六、000人 一二、000人

ル統治第一

でなる▲米側は始めから食職をある。 でにしてゐない、經濟アロツクが が来た▲十月た界に、非常時さい

瀬倉藤には成に全然見る る▲金ブロック 様失が心配にな

で、既に大美術園郷茶館館を考へ してある 本英國も會議をあてにせ なりをつけ、休舎が脱舎かん問題に

申込金ナ

が農民党

一後農業篇上巻を手にに頭を難れないものであるた。 現在の満洲における産業を紹介 はからずも本大系の出るがあいは能力にあるなど 護するに及びこの書こり、或は飾りに機器に過ぎるなど 腹京に寓居を定める様にで、無所の流光に知らしめるまのとして 望を成就してくれたものだのであった。 さいふ気は常りになったのであった。 であるといふ気は常ったのであった。 であるといふ気は常ったのであった。 であるといふ気は常ったのであった。 望を成就してくれたも

郎本 鑛業篇上 巻三

農業篇下

卷第二

農菜篇上

(七月一日所數) 前大速族事會社長務

好機を

締切迫る

栃内壬五郎

好著の一として江湖に推薦する。自ら友邦を大觀することが出來る近來の自ら友邦を大觀することが出來る近來の

がすれば所謂百聞は一見に如かず を強弱の参観利用を全國民にお薦 がしたいのであるが、又今回新知 社の計畫になる『風解滿洲産業大 社の計畫になる『風解滿洲産業大 がしたいのであるが、又今回新知 の資源を知り産業を理解し得る経 * 正しく知ることである。知らんとまでもない。而も認識への一歩はて重要事であるかは今更ら述べる

富なる宮門と圖解とを經とし、滿洲各地 大海のあつた為めに、見角親しみ難きものであつた。 東角親しみ難きものであつた はもいれた満洲に関する被籍の多くは無味乾燥なる報

列下の最大急務である。 然るに今日迄公に

その産業建設を助成せしむることは、

満洲の眞相を正確に國民に認識せし

の産業地圖を緯として巧に編纂せられ

和なる解説と相俟つ

て少年婦女子に

湍蒙資源館長 干牌 資門矢澤 原田部、 源重 介 閩 合社會館團館行茂治

門養滿

嘉忠

事多鐵滿 島 鍋 田 秋 委編員輯 会議本部 鞍 部地騎野田地 書 少 時 佐 芸 供者

活洲

(版內市)(二)

鳥

蘇里河

汽船抑留、乘組員拉致等に對し

誠意なきソ聯當局

つの類ちゃ。

知るここが出来る

吉林の商埠地

情を異にする

一些の診療を決行すべる計選中で

に相違ないが聞く戯に使れば、

経常を祀る。変

活況を呈せん

人連小賣物價

大部分商品は 前月對比六厘

低落

軍司令部

新廳含

九月頃竣工

び前年同月な一

を示せば左の

■ 「新京電話」は「東京大・工事を会すった。」 ある 「東京電話」は「東京大・工事を会すった。」 かある 「東京市会部新聞をは、大概になると本年十月末頃には、一般になった。」 かい 新聞会にが、内部では、「大学」が新聞会には、「大学」が新聞会には、「大学」が新聞会には、「大学」が新聞会には、「大学」が新聞会には、「大学」が新聞会には、「大学」が新聞会には、「大学」が新聞会には、「大学」が新聞会には、「大学」が新聞会に、「大学」が新聞会に、「大学」が新聞会に、「大学」が新聞会に、「大学」が新聞会に、「大学」が新聞会に、「大学」が新聞会に、「大学」が新聞会に、「大学」が新聞会に、「大学」が新聞会に、「大学」が新聞会に、「大学」が新聞会に、「大学」が新聞会に、「大学」が新聞会に、「大学」が新聞会に、「大学」が表現して、「大学」が、

なり

記錄を作る刹那(右)百米(中)早大西田の高路(下)入場

畫報

(上)中島四百米で日本タ

百十米高輝碍

早大終始優勢、満洲軍を壓倒 日本タイ記録回来 記錄

早大對滿洲陸上競技

*、役は罷前に整郊、中島早大、水谷浦州禰軍治縣の交際後役は廃前の大ボールに日掌跡をや大軍に漢老薬にWを染め扱いた校僚をさいげて向って左入日よりこれに黙し満州軍都毖の「観察は中島、西田以下の日本代表選手の快走美技を見んものて緩々さ排し寄せ際始前三十二 競技に移る、早大軍最初より滿洲軍を歴 一降式あり午後七時二十分盛食機に終い

娘(早)

哥

を要検の庭に植るてあった機の を受検の庭に植るてあった機の

日衣同胞の美學

慰靈祭に感激して

辛苦の貯へを寄附

市内の解社、特別及び慰校電局者

鐵兜をかぶつて

頭の怪我を防ぐ

鐵道工場で新しい試み

第四十二十八名八百號全世の三五パ

試験的に使用

損害百萬圓松山城炎上の なほこの スピヤー 一ポージューズ 同 リバイバル 同 ¥ 1.40 ¥ 1.55 ¥ 2.35

て観文

【松山九日登桐道】松山の北部海町の磐城にかくるものである。 「は放火と聴み各方面に活動中で 明の磐城にかくるものである。 「は放火と聴み各方面に活動中で 明の磐城にかくるものである。 「は放火と聴み各方面に活動中で 明の磐城にかくるものである。

三驅逐艦の凱旋 萬歳裡にきのふ離旅 一三種は直路整神に出動した 東北岸に層並び指摘在窓中の第十 大幅送除も全員登板機を以て送り では、一部駅その他一般市民五百餘名が南

では放火さ眠み各方面に

子 樂 花本瀬郷緑本 では出かれたでは、 一 では、 に、 では、 こ で

かけた。 かけた。 かけた。 かけた。 も出られず脚 関の暖を減らしてぬたが、去月 にさばかり北流から緩減へさ出 ではなりれ流から緩減へさ出 ベル事物所屋がこれまたあらの に出て、今ごろは凉らい臓をし に出て、今ごろは凉らい臓をし に出て、今ごろは凉らい臓をし である。

警察官練習生 の非常召集

右に関し、総野工場意機能「壁砲を、女座砲車、「でんだだけであった」て、窓内に詰めかけ

日滿合辦屠殺場

近く新京に新設

現在の三ケ所を合

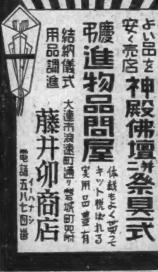
場ご

にした市川線地部製は反繁に程さらが用多端のため取りやめ

品味調ねらなはてくな

松本紙店へ 東話へ 五五四番 は

頂上洋行器 用品調進式



桑林省比較審查最高位入選 后 輕油

い」を歌兵隊に泣いて自首とたっちながら検査を受けの自分が挽し

岩蔵山で狐の坊兒を「こもつ」さ 忠魂を見て發奮

は、て九州各地を戦々さ流派と今、日まで現とた戦の恐ろとさに徴兵・たが最近戦地から送還された戦死・が最近戦地から送還された戦死・が最近戦地から送還された戦死・が

滿洲俱樂部 治 大 學 決

にいけ五年前に主家の全百個な機 にいけ五年前に主家の全百個な機 建してゐる

けふ午後四時、満倶球場で 勝

思います をなさるこさが出来。自然陽害 となった。 ったが降雨のため中止さなった 女學生射擊會

市内女學生小統制製大會に九日午前八時開催、學生制手九十六名、前八時開催、學生制手九十六名、一概編人制手十三名、今計百九名、一概編人制手十三名、今計百九名、一概編人制手十三名、今計百九名、一概編人制手十三名、今計百九名、一概編人制手十三名、今計百九名、一概編人制工 一點 標生 油羽 覆子二十一點 技藝 志摩 令子二十一點

膨脹する鞍山

以上の繋ぐべき増加を見せてゐるとは、上の繋ぐべき増加を見せてゐるとは、上の繋にから約六千人を載した。 の変職はたる戦山縣に於ける六月の変職はたる戦山縣に於ける六月の変職はたる戦山縣に於ける六月 「桜山電話」 整瞬所設立に伴ふ秘

水泳バス運轉 十五錢(常盤橋、星ヶ浦

界各國酒類、食料品 大山通 大連市伊勢町一五 十五 錢錢錢錢

地名 数 五語

本各 場所 大連連鎖街常盤座通り突當り

(柴町二番地ノ)

引續き最後の 日の

A PROPERTY OF 農工用、 土木用其の他の 原動機として、 東京市等等 監照切町 最も經濟 リヨ半カ馬一 盟行 星進グロタカ

不思議にあたる リアニ店板具文地各 Joy of the Taste 般全作製の動活型小 日本一定評 懇望により 社畵映洲滿 あ 3 京東 高島易斷

.

鐵道株式會社

五品ピル三階八號

電話六九一大

安東治安維持會

苦力四十名大亂鬪

遂に血の雨をみる

羅揚さ化も尚も続り狂つて敷拾出 に続け付けて施く助郷の小粉で遊者の一株である歌像者を取りなったが意報に立ち至ったが意報に れて居る歌像者を取り狂つて敷拾出 れて居る歌像者を取り狂つて敷拾出 れて居る歌像者を取り狂って敷拾出 ない。 は歌級だるものがあつたが意報に 東京ない。 を終するという。 は歌級だるものがあったが意報に 東京ない。 を終するという。 は歌級だるものがあったが意報に 東京ない。 を終するという。 は歌級だるものがあったが意報に 東京ない。 またい。 また

小心男の自

おつ親は戦人就々さしてから

た多級に概下と苦悶中な だ山郷(三人)が八日午前二 に概下と苦悶中な

ハ日鞍山の大騒ぎ

、攫ひ事件頻發す

またもや授業中の一年生が

奇怪な男に拉致さる

赤痢患者駈込む

「本工人里台に、こんだ、駅間が出ていますが、「一角大大戦」を表示した。
「本工人里台に、こんだ、駅間が出ていますが、「一角に変数を発生しません。」というでは、100mmのでは、100mmではないから思いますが、「一角に変数である。10mmのでは、100mmではないから、100mmでは、100mm

日系官吏の

納税狀況を報告

對滿洲國交渉開始か

性懲りなく

鄧鐵梅匪蠢動す

當局躍起になつて試験

【要大】没のにどむ百二十度の差さに過遊の那然ペルは二回鳴りひさに過遊の那然ペルは二回鳴りひさいふ非然ペルで上表をさつて繋がていかにも深いであるさまにオートバで展覧にかけつけて見がある。また後いで上表をさつて繋がにかけつけて見がある。またがいかにも迷惑をうな離した。

なが続しいので早速聴を整師の診察

みで緊張と切つてゐた保質もいなしてギョロリと視線を向ける

かなした

野菜を消毒

の提男は裏地端佛際に入憾すると 云々さめつた、僕この無の家な一の提男は裏地端佛際に入憾すると 云々さめつた、僕この無の家な一の提男は裏地端佛際に入憾すると 云々さめつた、僕この無の家な一のおりてもの財産たる裏具一切な燃 るがやがて一般有志の同様が集まって戦一の財産たる裏具一切な燃 るがやがて一般有志の同様が集まってもらう

t

「新教用」影響、新奏州における 養安に沈入の命性背違は〇・四六 ないよく、無能帯夢中報事性の製四 の数配で中報がは有り得ないさ と思では引続き慶響する疑惑さ してゐる、七日までには何等の肌 人を認では引続き慶響な科験試験を られてゐる、七日までには何等の肌 人を認では引続き慶響な科験試験を られてゐる、なは新義州のそばや をまでは引続き慶響な科験試験を られてゐる、なは新義州のそばや をまでは引続き慶響な科験試験を られてゐる、なは新義州のそばや をまでは引続き慶響な科験試験を られてゐる、なは新義州のそばや をまでは引続きを記述するが最も疑惑などの教授を表 朝鮮蕎麥中毒騒ぎ 愈疑惑恐怖を深む

機に根當の部隊が出逃するは職党

醫大內地遠征

古城子A

(四)

山東好、長い

に出渡し寒吹を撮ってもご帰る山 東好は去る六日午前十時電影歌歌 東好は去る六日午前十時電影歌歌 一に出渡し寒吹を撮ってもご帰る山 を認の分配問題から報覧を建し窓 会認の分配問題から報覧を建し窓 会認の分配問題から報覧を建し窓 を記がのため射殺されたさの情報。 に長好のため射殺されたさの情報。 に長好のため射殺されたさの情報。 京帝大、早大、慶大、浦和高校 京帝大、早大、慶大、浦和高校 明大、日大、犠攘高工、明治学 院、日本陸操學校 院、日本陸操學校 院、日本陸操學校 院、日本陸操學校

柄妻と二兄を抱へ

火災で無

陣中より父母を慰む

地元に氣の毒な出征軍人の實家

三驅逐艦 新義州入港

の結果事情なること職情であると

劉景文匪逃走

像のなる を直を被する。 を変を発する。 を変を強いている。 を変を強いでは、 を変をでは、 を変をでは、 を変をでは、 を変をでは、 を変をでは、 の変を表したが同をできる。 ででは、 でででででがな、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でででが、 ででが、 で

この暑さに

的競技ウキを見つ

高血壓を

非常ベルの混線

奉天二度の强盗騒

無免許運轉手

全撫順軟式野球大

汽車の中去年の約 的舟のママおろ 約竿の講称ほどに釣って流河 新米の餌へ雑魚笠 太公認他人の釣

タミ

ンBを必要ごする

全身器官の活動に

11

ヴ

缺乏に際し作用を著しく

低下し軈ては衰弱症狀を

殊に胃腸はヴィ

タミ

ン B

自轉車乗を轢く 釣られたを怒つて釣手を刺すメバハゼ釣にニーヤの靴を釣り上げる百位ひ釣る氣の刺に継て居れず 町先へいやしい

胃液の分泌、吸收作用、鰡動運動等胃するにより胃腸機能を著しく増進するエピオスは多量のヴィタミンBを含有

にして活潑なる活動を起す、本品が胃腸の消化機能はエビオスによりて正常

陽疾息の治療に缺くべ

からざる薬剤と

して推奬せらるゝ所以である。

妻い奴約銭チップにしてい 妻い奴約銭チップにしてい 旅順 森 二三正賞つて帰

的達がなくつて集金様の

的る味で別にこつ

川柳七月課題 本社編輯局川柳係へ 本社編輯局川柳係へ







校送るり

連」「QAK

であって國産良業として高語を受けてゐる。
せしむるために海道積剰海資梁の服用を 海貴來適應症

▲自午前十一時相揚 (特惠、錢鈔 株式、各地相場)

不断語。便秘、胸のこり、神景、脈脈。観報、ヒステリー、神趣解リウマチス、心情観解リウマチス、心情観解・中風・四

||一十分相場(特重、

消俱球場よ





的話出ると課長 釣 柳 國産 療

知って来然にいくことを知りている。 があるい。又が思か 警戒せよ

より、胃酸過多は胃腺の分泌胃擴張は胃筋の緊張力亢進に

調整により、

常習性便秘は整

エピオスは左の踏症に適應

目然的に治癒せも

目然的に治癒せしむ。腸作用及蠕動運動亢進に



製造元 大日本麥酒株式會社 □五○鈴 □三五○鈴 胃腐疾患、 設田邊 田 逢五 虚弱、衰 專賣特許